

# 選挙に行こう！ ～誰もが分かりやすい 選挙公報を目指して～

選挙はたまにしかありませんが、  
民主主義を支える重要な仕組み！

投票所のバリアフリー化など  
ハード面の改善は図られる一方で  
肝心の「誰に投票するか」を選ぶ情報提供は  
新聞紙スタイルの選挙公報のみ！

実は視覚・聴覚障がい者向けの点字や音声による公報などを作成している自治体も多いのですが、配布数が少なかったり製作コストが掛かるなどの課題も抱えています！

選挙公報を分かりやすい動画にして音声も付ければ…

動画にすることで視覚障がい、聴覚障がい、知的・発達障がいの方のみならず、若者や子供、あらゆる人達に関心を持って貰えるものにすることが可能！

今までの新聞紙スタイルのものに比べると  
紙資源の節約  
配布コストの削減  
点字や音声による公報も一本化できる可能性

選挙公報のユニバーサルデザイン化により障がい者や若者を含むあらゆる人にアピールし投票率向上を図る

**タイトル：選挙公報のユニバーサルデザイン化、動画の可能性について**

**なぜその提案(できること・取り組みたいこと)を思いついたか：**

狛江市の独自の取り組みである知的発達障がい者向け選挙「広」報を拝見して、現代においては音声・字幕付き動画にする方があらゆる可能性を包括することができ、視覚障がい者、聴覚障がい者、知的発達障がい者のみならず 動画に親しみのある若者世代、子供を含めたあらゆる層に関心を持って貰える可能性がある事 その結果として投票率の向上や紙資源の節約、印刷配布コストの削減、点字やテープによる選挙広報の一本化なども図れるのではないかと考えました。

**その提案を実践することで地域がどのようになればよいと思うか：**

条例改正などのハードルはありますが、障がい者も若者もお年寄りも誰もが同じものを見て選挙を身近に感じて貰い、地域をより良くする取り組みとして自分の考えに近い候補者を選んで貰えるようになれば民主主義の発展に貢献することができるのではないかと考えています。